

令和 3 年度地域公共交通事業の収支状況等

1. 地域公共交通事業の収支状況について

(1) 地域コミュニティ交通

ア. こいこいバス (幹線交通)

路線	利用者数 (人)	経常経費 (円)	経常収益 (円)	収支差 (円)	収支率 (%)
こいこいバス	101,221	32,525,198	20,858,417	△11,666,781	64.1

- ・今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用者数は前年度と比較して横ばいで推移しており、約 1.7%の減少でした。
- ・経常経費及び経常収益ともに前年度とほぼ同程度で、収支率は約 0.7%の増加でした。

イ. 支線交通

路線	利用者数 (人)	経常経費 (円)	経常収益 (円)	収支差 (円)	収支率 (%)
三ツ石地区 乗合タクシー	1,028	762,720	233,630	△529,090	30.6
ひまわり タクシー	442	363,540	88,805	△274,735	24.4
湯舟のりあい タクシー	503	339,360	114,313	△225,047	33.7
栄ぐるりん タクシー	754	751,250	188,500	△562,750	25.1
あじさい タクシー	321	321,440	72,950	△248,490	22.7
合計	3,048	2,538,310	698,198	△1,840,112	27.5

ア.イ.の合計利用者数 104,269 人

(2) 路線バス (廃止路線代替バス)

路線	利用者数 (人)	経常経費 (円)	経常収益 (円)	収支差 (円)	収支率 (%)
大竹・栗谷線	3,084	15,944,000	1,447,172	△14,496,828	9.1
坂上線	13,149	18,939,161	3,730,010	△15,209,151	19.7
合計	16,233	34,883,161	5,177,182	△29,705,979	14.8

- ・今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、年間の利用者数は前年と比較して、大竹・栗谷線は約 7.3%減少、坂上線は約 1.8%減少しました。
- ・路線バスの経常収益は前年度と比較して約 1.5%減少、経常経費は前年と比較して約 2.4%増加したため、収支率が約 0.6%下がりました。

目標 2 持続可能な地域公共交通サービスが暮らしを支えるまちの実現

評価指標 2 公共交通の利用者数（タクシー補助制度，航路を除く）
《大竹市地域公共交通網形成計画 P51》

	路線バス	地域コミュニティ交通
基準値（平成 29 年度）	24,167 人	155,327 人
令和 3 年度実績値	16,233 人	104,269 人
目標値（令和 4 年度）	22,000 人以上	155,000 人以上

評価指標 3 公共交通の運賃収支率（タクシー補助制度，航路を除く）
《大竹市地域公共交通網形成計画 P52》

基準値（平成 29 年度）	57.1%
令和 3 年度実績値	38.2%
目標値（令和 4 年度）	50%以上

【今後の方針】

路線バス及び地域コミュニティ交通については、運行サービス内容が利用実態や利用ニーズ等に適していない場合は、効率化や利便性向上を図るため、交通事業者と市が協議し、必要な改善について検討、実施します。

2. 地域公共交通事業の利用促進施策の推進について

(1) 市広報を活用した地域公共交通に係る情報発信を実施

令和 3 年 6 月号	・支線交通の令和 2 年度運営状況
令和 3 年 7 月号	・バス車内の事故防止にご協力を～ 車内事故防止キャンペーン実施中
令和 3 年 9 月号	・市内のバス 台風・荒天時や事故・災害時は運休・運行ルート
令和 3 年 11 月号	・元町・木野地区道路通行止めで坂上線バスの迂回運行
	・こいこいバス「バスエコファミリーキャンペーン」に参加しよう
令和 3 年 12 月号	・市内のバス 年末年始のバス運行時刻変更

(2) モビリティ・マネジメント※の一環として、バス（こいこいバス）に乗るきっかけづくりを目的としたバスエコファミリーを実施

実施日	11月3日(祝), 6日(土), 7日(日), 13日(土), 14日(日), 20日(土), 21日(日), 23日(祝), 27日(土), 28日(日)		
対象	大人(有料) 同伴の小学生の運賃が無料 [大人1人につき小学生2人まで]	実績	57人

※マイカーに過度に依存した生活から、適度に賢く公共交通を活用する暮らしへ、ライフスタイルや意識の転換を促進する働きかけのこと。

目標3 地域公共交通を利用・応援する市民意識が高いまちの実現

評価指標4 市広報を活用した情報発信回数

《大竹市地域公共交通網形成計画 P53》

基準値(平成30年度)	5回/9か月(4月号~12月号)
令和3年度実績値	6回
目標値(令和元~5年度)	毎年6回以上/12か月

評価指標5 バスエコファミリーキャンペーン利用者数

《大竹市地域公共交通網形成計画 P53》

基準値(平成26~30年の平均値)	100.8人
令和3年度実績値	57人
目標値(令和元~5年の平均値)	110人以上

【今後の方針】

公共交通の利用を促進するための情報発信、公共交通の利用意識を高める取り組みを推進します。

3. 地域公共交通の待合い環境などの改善について

(1) 公共交通（バス）の標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）を広島広域都市圏・広島県オープンデータポータルサイト「dataeye」へオープンデータとして提供しました。

※各種乗換案内検索サイトがオープンデータを利用することにより、Google 乗換案内のみならず、バス利用者の経路検索や総合的な移動計画が可能になります。また、一部運休情報や運行ルート変更情報などの情報発信にも役立つものです。

路線名及び提供した日	こいこいバス 令和3年12月 (Google 乗換案内は令和2年8月から)
	大竹・栗谷線 令和3年12月 (Google 乗換案内は令和3年1月から)
	坂上線 令和3年12月 (Google 乗換案内は令和2年12月から)
提供項目	停留所一覧表（緯度経度情報）、路線及び経路、時刻表、運賃一部運休情報、運行ルート変更情報など

広島広域都市圏・広島県オープンデータポータルサイト「dataeye」

URL：<https://Hiroshima-opendata.dataeye.jp>

(2) 支線交通「あじさいタクシー」の御園市営の乗降地点表示を新規に設置しました。

御園市営の乗降地点表示



【今後の方針】

特に安全性の向上に重点を置き、待合い環境の整備を推進します。

公共交通（バス）の標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）におけるバスロケーションシステム（動的情報）は、引き続き検討します。